



B型事業所 アクセプト
令和4年11月
地域協働活動報告

地域に根ざした事業所づくり

わくわくネットワークを通じた 地域の企業体との連携活動

- 宮崎市の就労系事業所の任意団体である、一般社団法人わくわくネットワーク。わくわくネットワークに地域の企業から依頼された受注作業はあるものの、納期がある事、作業の難しさ、単価が合わない等の理由から、各事業所の受け入れ状況は良いとは言えない。そのため、仕事はあっても引受先がないと事務局も悩んでいる。当事業所は、受け手がいない作業も積極的に取り入れ、地域企業の困りごとの解決を図っている。各企業と直接の連携を取り、指定された製品を期日までに仕上げる事を目標としており、利用者と共に納期を意識した「仕事」として取り組んでいる。また、作業単価については作業の細分化、利用者の配置、役割分担等の工夫を行い、できる限り効率化する意識を持ちながら取り組んでいる。受注作業における実績はわくわくネットワークの仕事のあっせん実績に直結している事もある。地域を支える存在としての、わくわくネットワークのポテンシャルをさらに引き出せるよう取り組んでいく。

地域企業連携

有限会社矢野青果 千切り大根袋詰め作業

地場産業の一つ、千切り大根の製造、販売を行う地域企業。

わくわくネットワーク受注。

製品の種類が多く、各製品に合わせた対応を行う必要がある。現在、複数の事業所で取り組みを行っているも、生産量に課題がある。また、製品に応じた対応が難しいとの理由で受注を敬遠されている面もある。当事業所としては、生産の安定化、生産量の確保、作業効率化を重点課題として取り組み、地域企業の課題解決の一翼を担っている。利用者にも、先述した「仕事」として取り組んでもらう事を意識してもらい、地域企業から安心して仕事を任せてもらえる存在となりえる事を知ってもらう。それが、就労に対する自信、信頼の確保、やりがいとして捉えられるように支援していく。就労希望のある、能力の高い利用者に関しては直接の雇用に向けてアプローチしていく。また、製品を卸してもらい、それを事業所で販売する活動も行う。相互連携を深め、お互いにメリットがある関係性を構築し、維持継続していく。

地域企業連携

株式会社Have fan Factory

サプリメント製品箱詰め等

宮崎市に製造工場を持つ、サプリメント製品製造・販売の企業。

わくわくネットワーク受注。

サプリメント製品の箱詰め作業、シール貼り作業を受注している。1回の受注量が数千個単位であり、さらに納期が短い点が敬遠されるポイントとなっている。社長も、障がい福祉への関心が高く、なるべく障がい福祉サービス事業所へ発注依頼をしたい思いを持っている。しかし、先述の通り、受注する内容の難易度が高く、応えられる事業所が少ない。当事業所は作業効率化、納期の厳守を最重点課題としており、地域企業の困りごとへ対応できる事業所として成果を上げる。利用者も、納期があることに対して責任感を持って「仕事」として取り組むことができている。地域企業に頼られる事業所であることが、利用者の自信、就労への意欲に強く作用していると感じている。

近隣住民の方たちへ

事業所前イベント販売会

近隣住民の方たちへ向けた、周知活動として事業所前での定期的な販売会の実施。

事業所の前で骨董品、アパレル製品、ハンドメイド製品、飲食物の販売を行う。

販売するハンドメイド製品の作成、骨董品等の洗浄、修繕を行う。イベント当日の売り場づくり。来場者に対する対応。イベント販売会として、物を売る活動を通じ、売れる喜び、客とのかかわりなどにやりがいを感じてもらうことで、就労することへの意欲を高める。恒久自治会・民生員・地域住民等とのつながりを生み出す。そして、地域の方々に事業所の存在を周知し、障がい福祉に関する地域の困りごとなどを相談できる存在となれるように取り組む。

また、生産活動につながるような地域の困りごとを掘り起こし、手伝えることで報酬が得られるように関係性を構築していく。

わくわくネットワーク・Super歩一歩・セルフ合同 福祉バザールわくわく市（宮交シティアポロの泉）

3団体合同で執り行われる、福祉バザールわくわく市。地域の方への、障がい福祉サービスの周知、工賃向上を目的に行われる。

県内事業所への声掛けのもと、参加者を募る。現在、コロナウイルス感染拡大の影響を受け、参加事業所の確保が難しい状態にある。

また、客足としても、従来の物ではないため、売り上げに期待することは難しい。しかし、参加する事をあきらめてしまえば、我々の存在をアピールする場を失ってしまう可能性がある。困難も多いが、できる限り参加する事を心がけていきたい。

地域企業連携（5月より新規受注）

株式会社シンセラティ

EC販売商品の梱包等

宮崎市に拠点を置くEC販売の地域企業。

わくわくネットワーク受注。

ECにおける業務、梱包作業を受注して取り組んでいる。当事業所もECに取り組んでいるため、そのノウハウ蓄積にも協力してもらっている。また、作業量の多さと物量から、やはり引き受け手の少ない作業である。作業を探し、提供するわくわくネットワークの存在意義、地域企業の後押しを念頭に、難しい作業ではあるが、請け負っている。

また、先述の通り、EC販売におけるアドバイス等が受けられる大きなメリットがある。双方が良いと思える関係性を構築、維持していけるよう取り組む。

これからの発展性も見込めるため、ともに成長できるように相互理解を深めていきたい。

令和4年11月度実績

- 矢野青果千切り大根袋詰め作業

総売上：159,525円

今月も125gの注文がかなり多く、減収の原因となった。

しかし、他の事業所が125gが非効率であるため、受注しない事に悩んでいる事情もあり、当事業所がその解決を図っている。全てが125gではないため、我慢強く対応していく事で期待に応えていきたい。

令和4年11月度実績のつづき

- 事業所前イベント販売会

総売上：なし

今月は11月3日のふくしま祭り、17日、18日の福祉バザールわくわく市の実施があるため、事業所前でのイベントは行わなかった。

来月また検討していきたい。

令和4年11月度実績のつづき

。みやざき健康ふくしま祭り 福祉バザールわくわく市

総売上：24,800円

ふくしま祭りが3年ぶりに開催され、初参加となった。

園内飲食禁止のルールであったため、今回は飲食物の販売を断念。アクセサリーの販売を行った。売り上げは20,400円となり、それなりの結果であった。飲食物はよく売れていたもので、次回はできる範囲で飲食物の販売を行っていききたい。

福祉バザールわくわく市はアポロの泉で開催。しかし、平日という事もあり客足は非常に厳しいものとなった。売り上げは4,400円。苦しいものとなった。

令和4年11月度実績のつづき

。シンセラティ梱包作業

総売上：28,317円

目標数に近い数字となった。作業にもかなり慣れてきた様子も見られるが、新しい商品も来ることがあるため、油断しないように取り組みたい。

今回、インソールのサイズ違い等、入荷先企業のミスによる発注数の違いがあった。丁寧に点数確認を行っていたため、相違に気づく事が出来た。

こういった点が評価され、シンセラティ様より感謝の言葉をいただいた。

利用者の皆さんにも共有し、仕事が評価されていることを伝える。
引き続き、良い関係を継続できるように取り組んでいく。

令和4年11月度実績のつづき

◦ Have fun Factory サプリメント製品の梱包作業等

総売上：165,149円

今月も1万個の発注から始まった。しかし、資材を作っている企業でコロナウイルス感染が起きてしまい、資材の一部が到着しないトラブルが起きてしまった。

そのため、数が伸び悩んでしまった。当方の原因によらないもので、大変残念ではあったが、頂いた仕事をしっかりとこなして信頼関係を維持していけるようにしたい。

また、次の月分の仕事も確保する事が出来ている。コロナウイルスに負けないよう、しっかりと取り組んでいきたい。

各作業の様子

- 矢野青果千切り大根袋詰め作業



125gの仕事が多かったため、数が伸び悩んだ。しかし、企業の課題解決には一役買っていると思われる。とにかく発注してもらったものを確実にこなし、お互いの良い関係が維持できるようにしていく。

各作業の様子

- Have fun Factory
サプリメント箱詰め作業等



当月も1万個の発注から始まったが、資材を作る会社内でのトラブルから材料の一部が届かず作業が進まなくなってしまった。非常に残念であるが仕方がない。引き続き、コツコツとこなし信頼を維持できるように取り組んでいきたい。

各作業の様子

- シンセラティ梱包作業

※ 玄関先に並べるほどたくさん
さんの数をこなしたが、写
真撮影を忘れてしまった。



当月は受注数も多く、たくさんさんの数取り組む事が出来た。

特に、インソールの数、サイズ違いに気づけたのは大きかった。信頼をさらに厚くする事が出来たように思われる。引き続き、今を継続できるように取り組む。

各作業の様子

◦ イベント販売会

ふくしま祭り

福祉バザールわくわく市



当月は受注数も多く、たくさんの数取り組む事が出来た。

特に、インソールの数、サイズ違いに気づけたのは大きかった。信頼をさらに厚くする事が出来たように思われる。引き続き、今を継続できるように取り組む。